

課題に対する現状と第7期の方向性について

<p>課題(大項目)</p> <p>通いの場 ・抱い手 ・男性 ・多世代 ・情報発信 ・見守り ・社会参加</p> <p>コンセプト 高齢者が地域でのつながりを保ちながら、いきいきと暮らせる社会参加の機会や場の確保</p>	<p>第6期の現状</p> <p>ふれあいサロン活動の支援</p> <p>事業名 ふれあいサロン活動の支援</p> <p>内容 身近な地域における高齢者等の交流の場として、町会・自治会が主体となり、ふれあいサロンや集会所等で毎月1～2回行われているサロン活動に対して、社会福祉協議会を通じて各種の支援を行います。多後は、一般介護予防事業と連携した取組みについても検討しています。</p> <p>関連事業 ・ふれあいサロンの運営支援 ・介護予防事業の拡充</p> <p>事業名 コミュニティカフェ事業への支援</p> <p>内容 孤立化しやすい高齢者の新たな居場所と世代交流の場として、コミュニティカフェ等の場づくりの支援を行います。住居と行政と社会福祉協議会が連携して、住居生活による事業推進ができれば、高齢者への支援や運営ノウハウ、人材養成等の支援を行います。</p> <p>関連事業 ・立ち上げ費用や家賃(国庫交付)等の支援 ・運営事業等のためのセミナー開催、人材養成 ・多世代交流事業 ・介護予防事業の拡充</p>	<p>第7期計画での方向性</p> <p>第2部第1章第2節「高齢者の居場所づくり」での対応 → 6期計画の地域展開、必要に応じ制度見直し 柏市地域支え合い推進協議会 地域支え合い会議 → 通いの場活動の更なる創出 → 「我が事、丸ごと」地域共生社会・地域福祉計画(柏市地域健康福祉計画)の策定推進とも連携して実施</p>
<p>助けあい ・生活支援 ・情報発信 ・見守り ・抱い手 ・社会参加</p> <p>コンセプト 親居の高齢者でも、住み慣れた家でいまでも安心して暮らせる地域の助けあい</p>	<p>生活支援サービスの体制づくり</p> <p>事業名 生活支援サービスの体制づくり</p> <p>内容 心あると地域や自治会等とNPO、ボランティア団体等との連携による支え合い活動のしくみづくりを行います。生活支援サービスの実現に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の創出・養成等の取組やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター(地域支えあい推進員)」を支えあいの住民組織に配置して、生活支援サービスの提供体制の整備を図ります。</p> <p>関連事業 ・生活支援体制整備事業(介護保険・地域支援事業)の充実 ・認定NPO法人生活支援協議会(仮称) ・コーディネーター・社員養成 ・見守り・情報発信 ・生活支援センター、民生児童委員センター等</p> <p>事業名 「たすけあい活動」「通いの場」「見守り」について協議</p> <p>内容 各コミュニティエリアで「支えあひ会議」を開催 H27年度 10地域 H28年度～ 20地域</p> <p>「たすけあい」活動についての検討から開始</p>	<p>第2部第1章第3節「健康づくりの推進」 第2部第2章第1節「見守り・支え合い」での対応 → 6期計画の地域展開、必要に応じ制度見直し 柏市地域支え合い推進協議会 地域支え合い会議 → たすけあひ活動の更なる創出 → 「我が事、丸ごと」地域共生社会・地域福祉計画(柏市地域健康福祉計画)の策定推進とも連携して実施</p>
<p>交通 ・抱い手 ・社会参加</p> <p>コンセプト 後期高齢者の増加に伴う移動困難者に配慮した交通網</p>	<p>ジャンボタクシーの運行を行っているが、カバーできないエリアが存在する。</p> <p>認知症等で運転能力が低下した高齢者が免許返納し易い環境整備。</p> <p>→ 交通対策部門との協議・対策の検討</p>	<p>第2部第3章第3節で「交通施策」に関する記載</p>